

放射性廃棄物処理・処分 スケジュール

分野名	括り	作業内容	これまで1ヶ月の動きと今後1ヶ月の予定	スケジュール												備考	
				8月		9月					10月			11月			12月
				24	31	7	14	21	28	5	12	下	上	中	下		前
固体廃棄物の保管管理 処理・処分計画	1. 発生量低減 対策の推進	持込抑制策の検討	(実績) ・発電所構内における資機材等の貸出運用開始に向けた検討	発電所構内における資機材等の貸出運用開始に向けた検討													
			(予定) ・発電所構内における資機材等の貸出運用開始に向けた検討														
	2. 保管適正化 の推進	ドラム缶保管施設 の設置	(実績) ・固体廃棄物貯蔵庫第9棟の設計	固体廃棄物貯蔵庫第9棟の設計												・H26.8.12:安全協定に基づく事前了解 【規制庁関連】 ・H26.8.13:実施計画変更認可申請	
			(予定) ・固体廃棄物貯蔵庫第9棟の設計													・H29年1月竣工予定	
		保管管理計画の 更新	(実績) ・更新計画の策定	更新計画の策定													
			(予定) ・更新計画の策定														
		雑固体廃棄物の 減容検討	(実績) ・雑固体廃棄物焼却設備にかかる建屋工事 ・雑固体廃棄物焼却設備にかかる機電工事	雑固体廃棄物焼却設備にかかる機電工事												雑固体廃棄物焼却設備: H27年度10月稼働予定 ・建屋工事(~H27年6月) ・機電工事(~H27年6月) ・試運転期間(H27年7月~H27年10月) 【主要建屋工事工程】 ・基礎工事完了: H25.10.5 ・上部躯体工事: H25.8.24~ ・1階PC柱・梁取付完了: H25.12.12 ・使用前検査(基礎スラブ、2階耐震壁) H26.2.18、19 ・2階PC柱・梁取付完了: H26.4.7	
			(予定) ・雑固体廃棄物焼却設備にかかる建屋工事 ・雑固体廃棄物焼却設備にかかる機電工事	雑固体廃棄物焼却設備にかかる建屋工事													
	覆土式一時保管 施設 3,4槽の設置	覆土式一時保管施設 3,4槽の設置	(実績) ・覆土式一時保管施設 3,4槽の設置に向けた準備	覆土式一時保管施設 3,4槽の設置に向けた準備												・H26.8.12:安全協定に基づく事前了解	
			(予定) ・覆土式一時保管施設 3,4槽の設置に向けた準備													開始時期調整中	
一時保管エリア の追設/拡張	一時保管エリアの追設/拡張	(実績) ・一時保管エリアの追設/拡張に向けた準備 ・一時保管エリアPの造成	一時保管エリアの追設/拡張に向けた準備														
		(予定) ・一時保管エリアの追設/拡張に向けた準備 ・一時保管エリアPの造成	一時保管エリアPの造成												・H26年10月中旬エリアP工事終了予定		
3. 瓦礫等の管理・発電所全体 から新たに放出される放射性物質 等による敷地境界線量低減	瓦礫等の管理・発電所全体から新たに放出される放射性物質等による敷地境界線量低減	(実績) ・一時保管エリアの保管量確認/線量率測定および集計 ・ガレキ等の将来的な保管方法の検討 ・線量低減対策検討 ・ガレキ・伐採木の保管管理に関する諸対策の継続 ・Cs吸着塔一時保管施設: 第四施設の追設、第一施設からの移動	一時保管エリアの保管量、線量率集計												一時保管エリアの保管量、線量率集計		
		(予定) ・一時保管エリアの保管量確認/線量率測定および集計 ・ガレキ等の将来的な保管方法の検討 ・線量低減対策検討 ・ガレキ・伐採木の保管管理に関する諸対策の継続	ガレキ等の将来的な保管方法の検討												一時保管エリアの保管量、線量率集計		
4. 水処理二次廃棄物の長期保管 等のための検討	水処理二次廃棄物の長期保管等のための検討	(実績) 【研究開発】長期保管方策の検討 ・長期保管のための各種特性試験	【研究開発】長期保管のための各種特性試験														
		(予定) 【研究開発】長期保管方策の検討 ・長期保管のための各種特性試験															
処理・処分計画 固体廃棄物の性状把握	固体廃棄物の性状把握	(実績) 【研究開発】固体廃棄物の性状把握等 ・固体廃棄物のサンプリング・分析方法検討 ・廃ゼオライト・スラッジ・ガレキ等の性状調査 ・JAEAにて試料の分析(現場: JAEA東海)	【研究開発】廃ゼオライト・スラッジ・ガレキ等の性状調査														
		(予定) 【研究開発】固体廃棄物の性状把握等 ・固体廃棄物のサンプリング・分析方法検討 ・廃ゼオライト・スラッジ・ガレキ等の性状調査 ・JAEAにて試料の分析(現場: JAEA東海)	【研究開発】固体廃棄物のサンプリング												9月下旬に分析試料をJAEAへ輸送する予定		

ガレキ・伐採木の管理状況(2014. 8.31時点)

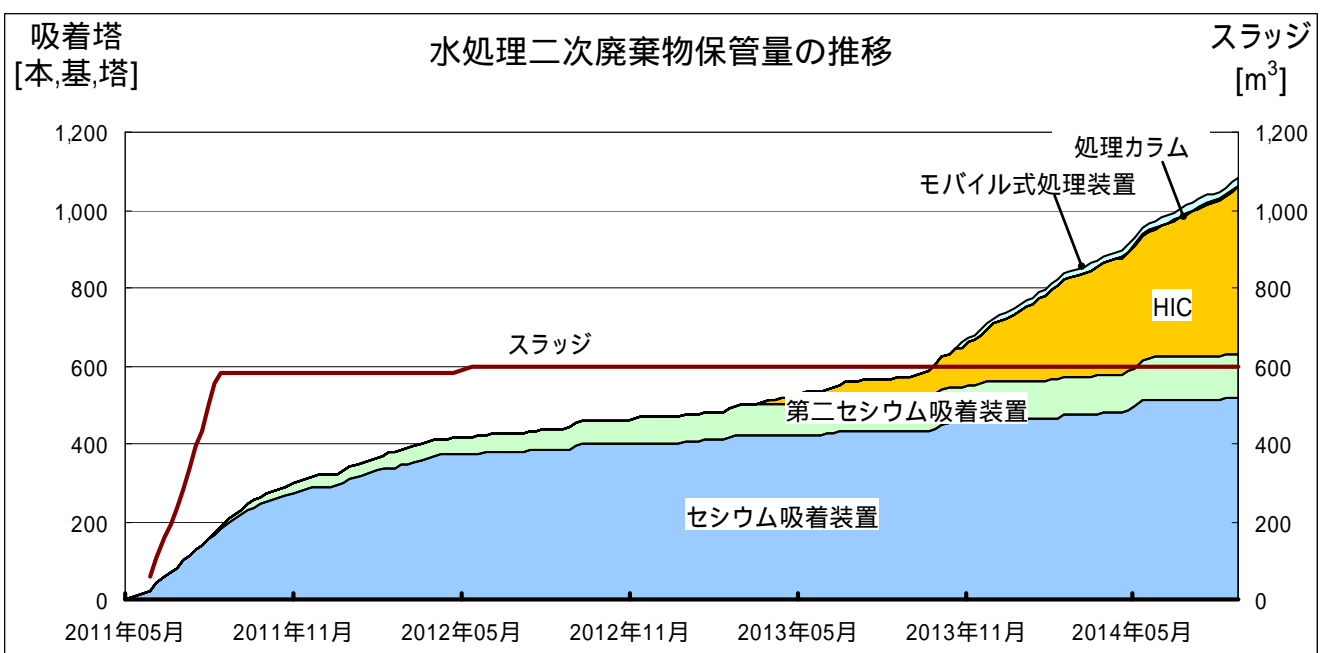
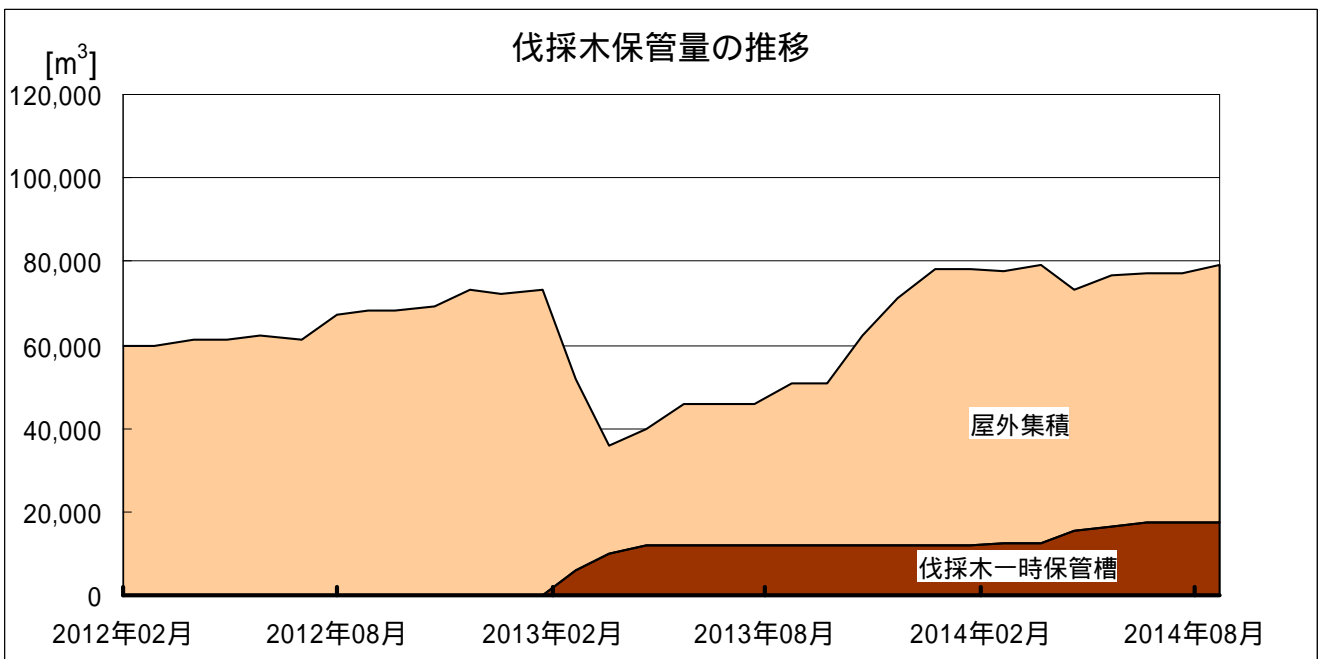
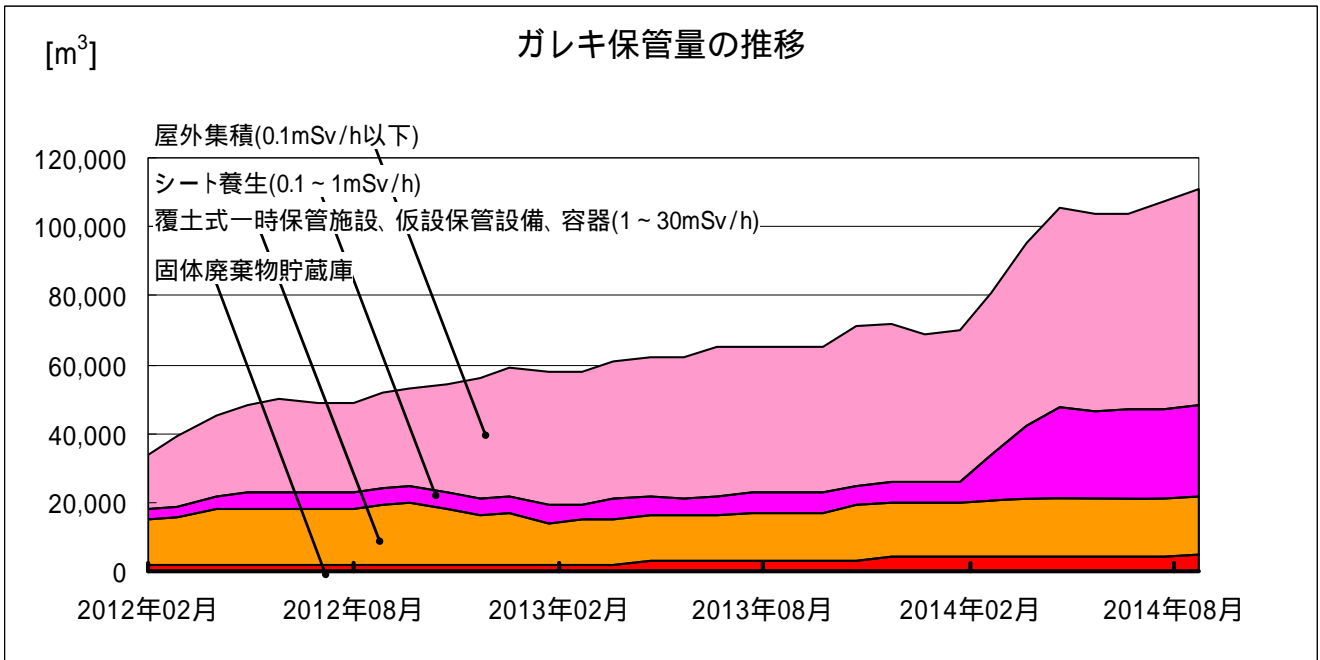
保管場所	エリア境界 空間線量率 (mSv/h)	種類	保管方法	保管量 ¹	前回報告比 ² (2014.7.31)	変動 理由 ³	エリア 占有率
固体廃棄物貯蔵庫	0.03	ガレキ	容器	4,700 m ³	+200 m ³	m ³	39%
A : 敷地北側	0.50	ガレキ	仮設保管設備	2,500 m ³	+100 m ³	m ³	35%
C : 敷地北側	0.01未満	ガレキ	屋外集積	40,000 m ³	+1,500 m ³	m ³	71%
D : 敷地北側	0.01	ガレキ	シート養生	2,600 m ³	0 m ³	m ³	88%
E : 敷地北側	0.02	ガレキ	シート養生	4,200 m ³	-200 m ³	m ³	59%
F : 敷地北側	0.01	ガレキ	容器	600 m ³	0 m ³	m ³	99%
			屋外集積	100未満 m ³	微増 m ³	m ³	1%
J : 敷地南側	0.03	ガレキ	屋外集積	4,700 m ³	0 m ³	m ³	98%
L : 敷地北側	0.01未満	ガレキ	覆土式一時保管施設	8,000 m ³	0 m ³	m ³	100%
O : 敷地南西側	0.03	ガレキ	屋外集積	17,600 m ³	+1,400 m ³	m ³	64%
Q : 敷地西側	0.12	ガレキ	容器	5,700 m ³	0 m ³	m ³	93%
U : 敷地南側	0.01未満	ガレキ	屋外集積	700 m ³	0 m ³	m ³	100%
W : 敷地西側	0.04	ガレキ	シート養生	19,800 m ³	+800 m ³	m ³	68%
合計(ガレキ)				111,200 m ³	+3,700 m ³	m ³	65%
G : 敷地北側	0.01未満	伐採木	伐採木一時保管槽	7,300 m ³	0 m ³	m ³	27%
H : 敷地北側	0.01	伐採木	屋外集積	13,600 m ³	+800 m ³	m ³	77%
I : 敷地北側	0.01	伐採木	屋外集積	10,500 m ³	0 m ³	m ³	100%
M : 敷地西側	0.01未満	伐採木	屋外集積	37,500 m ³	+900 m ³	m ³	83%
T : 敷地南側	0.01	伐採木	伐採木一時保管槽	10,100 m ³	0 m ³	m ³	44%
V : 敷地西側	0.02	伐採木	屋外集積	0 m ³	0 m ³	m ³	0%
合計(伐採木)				79,000 m ³	+1,700 m ³	m ³	57%

- 1 端数処理で100m³未満を四捨五入しているため、合計値が合わないことがある。
 2 100m³未満を端数処理しており、微増・微減とは100m³未満の増減を示す。
 3 主な変動理由： 3号建屋瓦礫撤去関連工事 タンク設置関連工事 凍土遮水壁設置関連工事
 多核種除去設備増設関連工事 エリア内の保管物整理 斜面安定対策関連工事 等

水処理二次廃棄物の管理状況(2014. 9.23時点)

保管場所	種類	保管量	前回からの増減 (2014.8.26)	保管量/保管容量
使用済セシウム吸着塔 保管施設	セシウム吸着装置使用済ベッセル	518 本	+4 本	43%
	第二セシウム吸着装置使用済ベッセル	112 本	0 本	
	多核種除去設備保管容器	431 基	+38 基	
	多核種除去設備処理カラム	3 塔	0 塔	
	モバイル式処理装置使用済ベッセル	20 本	0 本	
廃スラッジ貯蔵施設	廃スラッジ	597 m ³	0 m ³	85%





ガレキ・伐採木・水処理二次廃棄物の保管におけるトピックス(H26年9月25日)

分類	保管量(m ³)	保管容量(m ³)	占有率(%)	トピックス	
	H26年8月31日時点(H26年7月31日報告からの増減)				
ガレキ	屋外集積 (0.1mSv/h未満)	63,000 (+2,900)	97,200	65	・主なガレキは、工事で発生した廃材。 ・エリアP1(85,000m ³)を造成中(H25年4月～H26年10月中旬)。
	シート養生 (0.1～1mSv/h)	26,600 (+600)	39,500	67	・主なガレキは、工事で発生した廃材、建屋内に設置していた撤去機器、水処理で使用したホース類及び廃車両。 ・今後発生量の増加が見込まれるため、廃棄物発生量の抑制や既保管物の減容処理を進めていく。
	覆土式一時保管施設、仮設保管設備、容器 (1～30mSv/h)	16,800 (+100)	21,900	77	・主なガレキは、原子炉建屋上部等で撤去されたガレキ。 ・1号機ガレキ撤去に向けて、覆土式一時保管施設3,4槽設置(8,000m ³)の安全協定に基づく事前了解(H26年8月12日)。
	固体廃棄物貯蔵庫	4,700 (+200)	12,000	39	・主なガレキは、原子炉建屋上部等で撤去された高線量ガレキ。 ・第9棟設置(ドラム缶 約11万本)に向けて安全協定に基づく事前了解(H26年8月12日)。 ・第9棟設置に伴う実施計画変更認可申請(H26年8月13日)
伐採木	屋外集積 (幹・根・枝・葉)	61,600 (+1,700)	88,200	70	・主にエリアP1造成により伐採した幹・根を受入。 ・その他工事により発生した幹・根を随時受入中。
	一時保管槽 (枝・葉)	17,400	50,100	35	・当面受入を計画していた枝葉については、チップ化した後、エリアTの伐採木一時保管槽へ受入完了。

保管量、保管容量については端数処理で100m³未満を四捨五入

分類	保管量	保管容量	占有率(%)	トピックス	
	H26年9月23日時点(H26年8月26日報告からの増減)				
水処理二次廃棄物	使用済ベッセル (セシウム吸着装置使用済ベッセル、第二セシウム吸着装置使用済ベッセル、多核種除去設備の保管容器及び処理カラム、モバイル式処理装置使用済ベッセル)	1084本 (+42)	2,549本	43	・多核種除去設備の高性能容器を保管する使用済吸着塔一時保管施設第三施設について実施計画変更申請中(H26年4月申請)。
	スラッジ	597 m ³	700 m ³	85	・除染装置の運転計画は無く、新たに廃棄物が増える見込みは無い。 ・準備が整い次第、除染装置の廃止について実施計画の変更申請を行う。